



# だいすきいっぱい チーム愛宕

教職員は、日々授業準備、教材研究に余念がありません。1時間1時間の授業をどう組み立てていくか、児童の実態を捉えながら考えています。昨日は、児童が意欲的になり、主体的に学びに向かうようにしていくために、全職員で一つの授業を参観し、その授業について研修をしました。2年生の体育の授業を全員が参観しました。また、全職員の参観ではありませんが、6年生（社会）、たんぼぼ（図工）の各学級においても授業研究を実施しました。今回は、学習情報の指導員の太田先生が来校され、3クラスの授業を参観後、指導助言を受けました。協議会では、職員がチームに分かれて授業についての議論を重ね、研修をしました。



2年生の体育の授業は跳び箱で、今日の学習課題（めあて）は「バン！ ふわっ ピタッ！ に気をつけて開脚跳びこしをしよう」でした。腰につけたタフロープ、模範演技のリプレイ映像、「スーパーマン」の練習場、跳び箱の手のつく位置に張られた手形等、自分の目標に合わせて練習をしました。タブレットで自分の跳んでいる様子を友達に撮ってもらい、前時の録画と見比べて変容に気付いていきました。リプレイ映像を自分から見に行き、友達に聞きながらフォームを改善する児童もいました。体育の授業では、運動量の確保は必須です。今日は、全員が何度も挑戦し、自分の目標に向かって頑張りました。なかなかうまくいかないときには、補助運動でやった兔跳びを自ら練習し始める姿もありました。自分で練習方法を選択することは素晴らしいことです。また、ルールをしっかり守り、けがをすることなく安全に学習ができていることが立派でした。



6月9日（木）には、中級教育カウンセラーの浅井先生を招聘し、「心と心を結ぶ人間関係づくりワーク～一つの言葉を大切に～」をテーマに教職員の研修を行いました。良好な人間関係を築くための具体的な方策を学びました。「自己開示」「他者理解」の大切さや、心と心が触れ合う場、互いに褒め合う場、ふわふわことばに溢れる場を作ることの重要性を体感しました。この学びを、学級づくりに活かしていきます。

